



子どもや家族向けのショート動画 (SFV) 制作のヒント

この文書では、リサーチの結果を踏まえながら、SFV の制作に役立つヒントを紹介します。子どもや家族向けに質の高い短編コンテンツを制作するには、コンテンツを届ける方法と、若い視聴者に伝えたい内容の両方を検討する必要があります。

方法

SFV に特有の 4 つの構造的特徴

- 1 SFV 向けに特化したコンテンツを制作する。時間配分や縦長のアスペクト比を考慮しましょう。

理由: 2 歳以上の子どもは、視聴覚コンテンツが理解できないと、そのことに気づいて視聴するのをやめてしまいます。既存の長編コンテンツを基に SFV を制作する際は、この点を特に意識しましょう。SFV は、他の背景情報がなくてもそれだけで意味を理解できるものである必要があります。

- 2 学習テーマを繰り返し強調し、同じキャラクターを登場させる。SFV のグループ全体で、同じ情報を写真、歌、文字など複数の手段で提示することを考えましょう。類似した学習テーマで多彩な SFV を制作して、キャラクターを繰り返し登場させるのが理想的です。

理由: 繰り返すことにより、記憶が強化されます。さまざまなシナリオで同じ学習テーマを示すことで、理解しやすくなります。

- 3 ストーリーの流れを寸断しない。カットや場面転換はほとんど使わない、または一切使わないようにしましょう。

理由: カットが増えるほど、理解を妨げます。動画を編集して一部カットすると、小さな子どもは焦点を失って混乱し、画面の中央に焦点を合わせようとします（中央がメイン部分でない場合も同様です）。SFV は時間が限られているので、子どもが焦点を調整しなくても済むよう、できるだけ動画をカットしないようにしましょう。

- 4 特殊効果は、よく考えたうえで責任をもって使用する。効果音やアニメーション（オプション機能）は、動画のメインコンテンツに関連するものを選ぶようにします。

理由: ストーリーの流れに直接関係ない機能は、注意の妨げになります。ただし、特殊効果の機能がコンテンツと直接結びついているシナリオでは、学習成果が向上する可能性もあります。効果やアニメーションを選定する際は、特に注意するようにしましょう。



子どもや家族向けのショート動画 (SFV) 制作のヒント

内容

SFV の良い影響を最大限に高める 4 つのヒント

1 ストーリーの構成の中でコンテンツを提示し、年齢層に合わせた言葉を使うようにする。

理由: 明確に示された学習テーマをストーリーに組み込み、さまざまな方法で表示することで、子どもの学びを促進できます。ストーリー仕立てにすることで、学習に不可欠な注意力も向上します。

方法:

- 起承転結があり、独立した内容のSFVを制作しましょう。学習テーマがある場合は、前面に押し出してはっきり説明します。ストーリーが複数の動画に分かれているSFVは、一緒に視聴されない、もしくは正しい順番で視聴されない可能性があるため、作成しないようにしましょう。
- ストーリーの構成と言葉遣いは、対象年齢に適したものにしましょう。たとえば、就学前の子どもは恐竜に夢中になるかもしれませんが、「生息地」という言葉は理解できない可能性があるため、他の表現（「きょうりゅうがすんでいるところ」など）を使うか、言葉の意味を説明するようにしましょう。



2 親しみやすく身近に感じられる同じキャラクターを通じて、視聴者との関係を構築する。

理由: 視聴者がメディア上のキャラクターに共感すると、学習効果が高まります（学術用語で「パラソーシャル関係」と呼びます）。

方法:

- 子どもは、自分が理解できて信頼できるキャラクターやメディア上のパーソナリティに共感を抱きます。こうした「司会者」あるいはキャラクターを、複数のSFVで繰り返し登場させることができます。子どもにとって関係のあるもの、つまり子どもの興味や関心、特性をとらえましょう。
- こうしたキャラクターは、多様性をもたせ、インクルーシブなものにしてください。たとえば、眼鏡や補聴器をつけた人や外国人を登場させる、友達同士の家族構成に多様性をもたせる、といった工夫をします。



参考文献:

Anderson et al., 1981; Anderson & Kirkorian, 2015; Bond & Calvert, 2014; Bus, Takacs, & Kegel, 2015; Calvert & Scott, 1989; Calvert et al., 2014; Carter et al., 2017; De Jong and Bus, 2002; Fisch & McCann, 1993; Fisch, 2009; Gola et al., 2014; Hodapp, 1977; Holler et al., 2016; Kirkorian & Anderson, 2017; Lauricella et al., 2011; Neuman et al., 2017; Perkins & Salomon, 1992; Rasmussen, 2018; Richards & Clavert, 2017; Richert et al., 2011; Sanders et al., 2018. Singer et al., 2006; Takacs et al., 2015; Takeuchi & Stevens, 2011; Troseth et al., 2020; Yoo & Kirkorian, 2020; Schlesinger et al., 2014

子どもや家族向けのショート動画 (SFV) 制作のヒント

内容

SFV の良い影響を最大限に高める 4 つのヒント

3 ポジティブな行動や、感謝や知恵といった性格上の長所を模範として見せる。

理由: 内容の良し悪しに関わらず、子どもは画面で見たものを学び、それを手本にします。性格上の長所は SFV などのメディア コンテンツから習得されることが、研究で明らかになっています。

方法: 身の回りの問題に気づき始めた登場人物が、人助けや親切な行いをする、といったストーリーはいかがでしょうか。固定観念を打ち破るきっかけにするのもよいでしょう（たとえば、数学が得意な女の子を登場させるなど）。アニメの「ブルーイ」では、お父さん役のバンディットが子育てに奮闘し、いわゆる「亭主関白」のイメージを覆しています。

4 大人や、兄弟姉妹、友達と実際にかかわるきっかけを作り、学習意欲や好奇心を促進する。

理由: 一緒に視聴している大人や年上の家族は、小さな子どもがコンテンツに興味を持ち、理解するための手助けができます。SFV を見た後、保護者が身近な例との関連性を示すことで、学びの効果を最大化できます。

方法: 保護者にも参加するよう呼びかけ、ダンスや、クッキング、宝探しなどを実際にやってみるようにおすすめします。「セサミ ストリート」などの番組は、大人も楽しめる構成になっています。学んだ内容を実践してみるように提案しましょう。たとえば、「家の中で三角形のものを探してみよう」、「次に友達が困っているのを見たら、助けてあげよう」といった呼びかけをします。



その他の参考文献:

- パラソーシャル関係
[You've got a friend in me - The Benefits of Parasocial Relationships](#)
(君はともだち - パラソーシャル関係のメリット) | Center for Scholars & Storytellers
- 性格上の長所
<https://www.scholarsandstorytellers.com/building-character-strengths>
- 性格上の長所に関する「[The Power of Storytelling](#)」(ストーリーテリングの力) 調査研究
- Center for Scholars & Storytellers を立ち上げた Yalda T. Uhls 博士による [Psychology Today](#) の記事